

＜報道発表資料＞

教育総務部 文化財保護課

担当 課長 高山

直通 048-997-6666

E-mail:bunkazai@city.yashio.lg.jp



第53回企画展

「紐解く八潮のモノ語り—今遺したい昔話・伝承—」

8月9日（土）から9月28日（日）まで、八潮市立資料館（八潮市南後谷763番地50）において、第53回企画展「紐解く八潮のモノ語り—今遺したい昔話・伝承—」を開催します。

1 開催の目的

八潮に伝わる様々な昔話・伝承（モノ語り）を永く後世に伝え、遺していくことを目的に本展覧会を開催します。

2 内容

八潮に伝わる地名・川・人物・動物などに関する多くの“モノ語り”からは、この地に住んだ人びとがどのように考え生活をしていたかを垣間見ることができます。それらの“モノ語り”を、資料を交えて紹介します。

3 関連事業

(1) 担当職員による展示解説

第1回 8月17日（日）午後2時～3時

第2回 9月13日（土）午後2時～3時

(2) 企画展関連講座「八潮と蛇の物語」

9月28日（日）午後1時30分～午後3時30分

定員 30名

申込 9月5日（金）より資料館窓口・電話・電子申請で受付

4 見解

物語はそれ自体が形をもたず、失われても気づきにくいものです。それらを永く遺していくためにも、本企画展で心に響いた物語はぜひ身近な誰かと共有していただければ幸いです。

5 添付資料

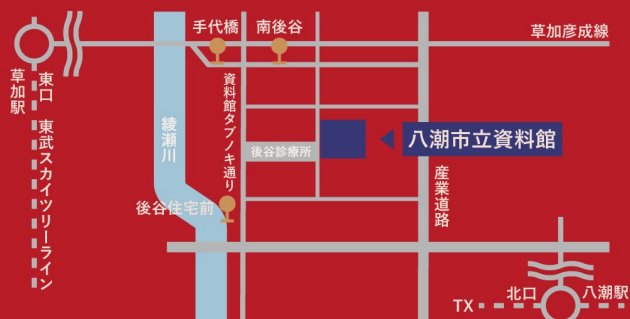
第53回企画展「紐解く八潮のモノ語り—今遺したい昔話・伝承—」チラシ

第53回企画展

紐解く八潮の モノ語り

—今遺したい昔話・伝承—

2025. 8. 9 (土) ▶ 9. 28 (日)



「草加駅」東口～「手代橋」バス停下車徒歩5分

「八潮駅」北口～「後谷住宅前」または「南後谷」バス停下車徒歩3分



八潮市立資料館

埼玉県八潮市大字南後谷763番地50

048-997-6666

bunkazai@city.yashio.lg.jp



▲企画展HP

開館時間

9:00～17:00

休館日

月曜日(祝日の場合開館)

祝日の翌日(8月12日、9月16・24日)

入館料

無料

「奥国征治古画(前九年合戦絵巻)」(個人蔵)

紐解く八潮のモノ語り—今遺したい昔話・伝承—

身の回りにあるものの由来を語る言い伝えや伝承などを、身近な誰かから聞いたことのある人は今では少ないのではないのでしょうか。物語はそれ自体が形をもたないため、失われても気づきにくいものです。しかし、物語には市域の成り立ちや事物の由来を語るものがあり、その物語の来歴を紐解くことで、市域に住んだ人びとがどのように考え生活していたかを垣間見ることができます。それは今日に伝わる“モノ”の来歴が語るいわば“モノ語り”も同様で、大切に遺していくべき貴重な財産です。

本展示では、物語と“モノ語り”の両方を“モノ語り”と一括りにして、これまで市域に伝わった“モノ語り”を紹介します。私たちの身近にあるものの由来や歴史を改めて見直し、永く後世に伝えてもらいたいと企画するものです。心に響いた物語はぜひ身近な誰かと共有していただき、それが物語を遺すための第一歩となれば幸いです。

展示構成

プロローグ	物語とは	第 3 章	芸能の物語
第 1 章	名所・旧跡の物語	第 4 章	人・動物の物語
第 2 章	水の物語	エピローグ	物語を受け継ぐ

関連イベント

展示解説会(申込不要)

第 1 回	8月17日(日)	14:00～15:00
第 2 回	9月13日(土)	14:00～15:00

資料館講座「八潮と蛇の物語」

日 時	9月28日(日)	13:30～15:30
場 所	八潮市立資料館	視聴覚講座室
定 員	30名	
申込受付	9月5日(金)～9月27日(土)	
	電話・窓口または電子申込にて受付	



▲ 講座申込

- 東武スカイツリーライン「草加駅」東口より
徒歩25分
- 東武スカイツリーライン「草加駅」東口より
東武バス(八潮駅北口行・八潮団地行・木曾根行)～「手代橋」バス停下車、徒歩5分
- つくばエクスプレス「八潮駅」北口より東武バス(柳之宮経由草加駅東口行)～「後谷住宅前」バス停下車、または東武バス(伊草団地経由草加駅東口行)～「南後谷」バス停下車、徒歩3分



開館時間 9:00～17:00
休 館 日 月曜日(祝日の場合開館)
祝日の翌日
(8月12日、9月16・24日)
入 館 料 無料



八潮市立資料館
埼玉県八潮市大字南後谷763番地50
048-997-6666
bunkazai@city.yashio.lg.jp



▲ 企画展HP



「蛇橋」(当館蔵)



「桑袋大橋」(当館撮影)



宇賀神像(持昌院蔵)



万作踊り(当館撮影)



鎮西八郎為朝絵馬(南後谷八幡神社蔵)